

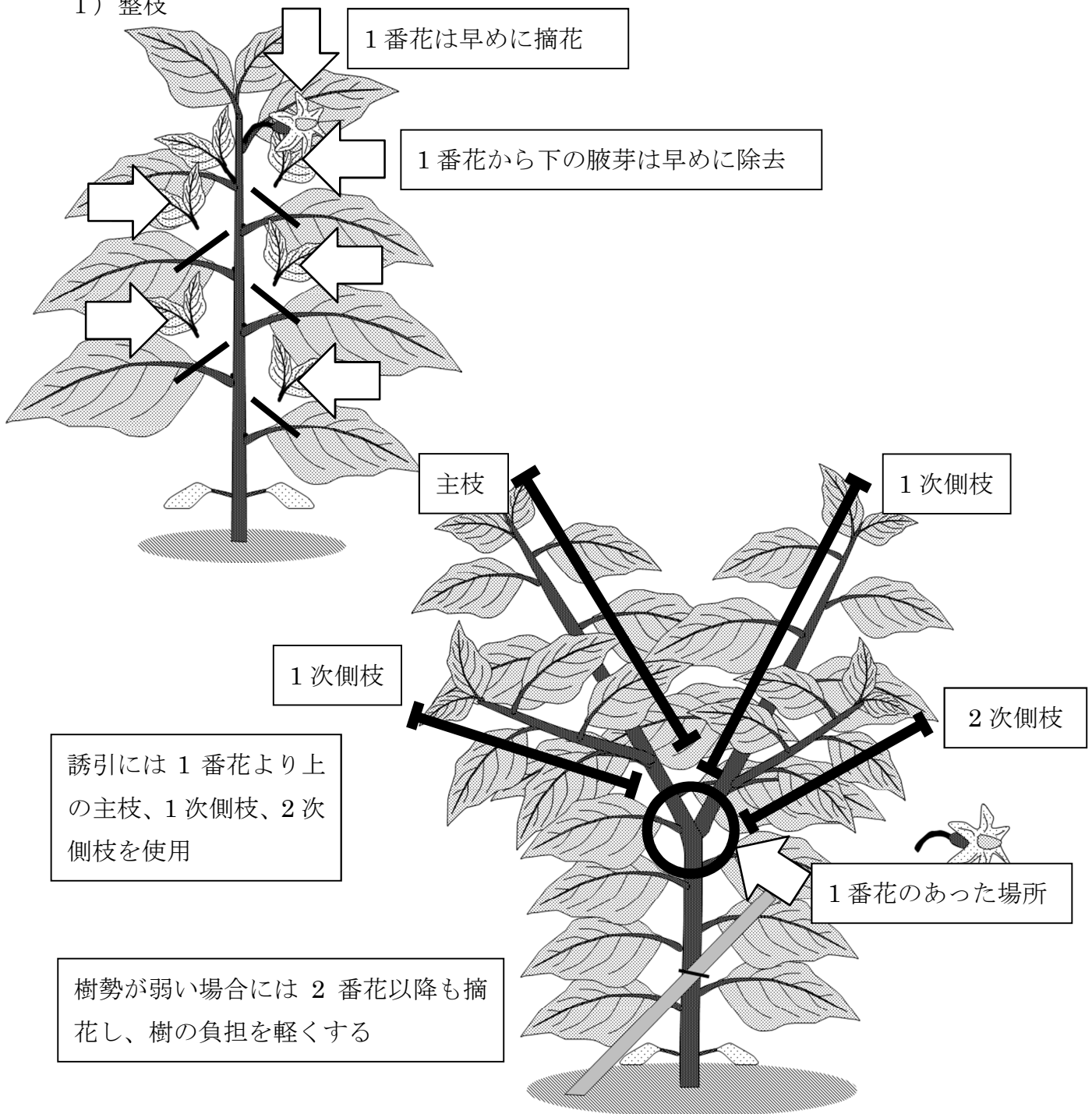
1. 整枝・誘引について

1番花の下から発生する腋芽は早めに除去します。

1番花は着果すると樹勢が低下するので早めに除去します。

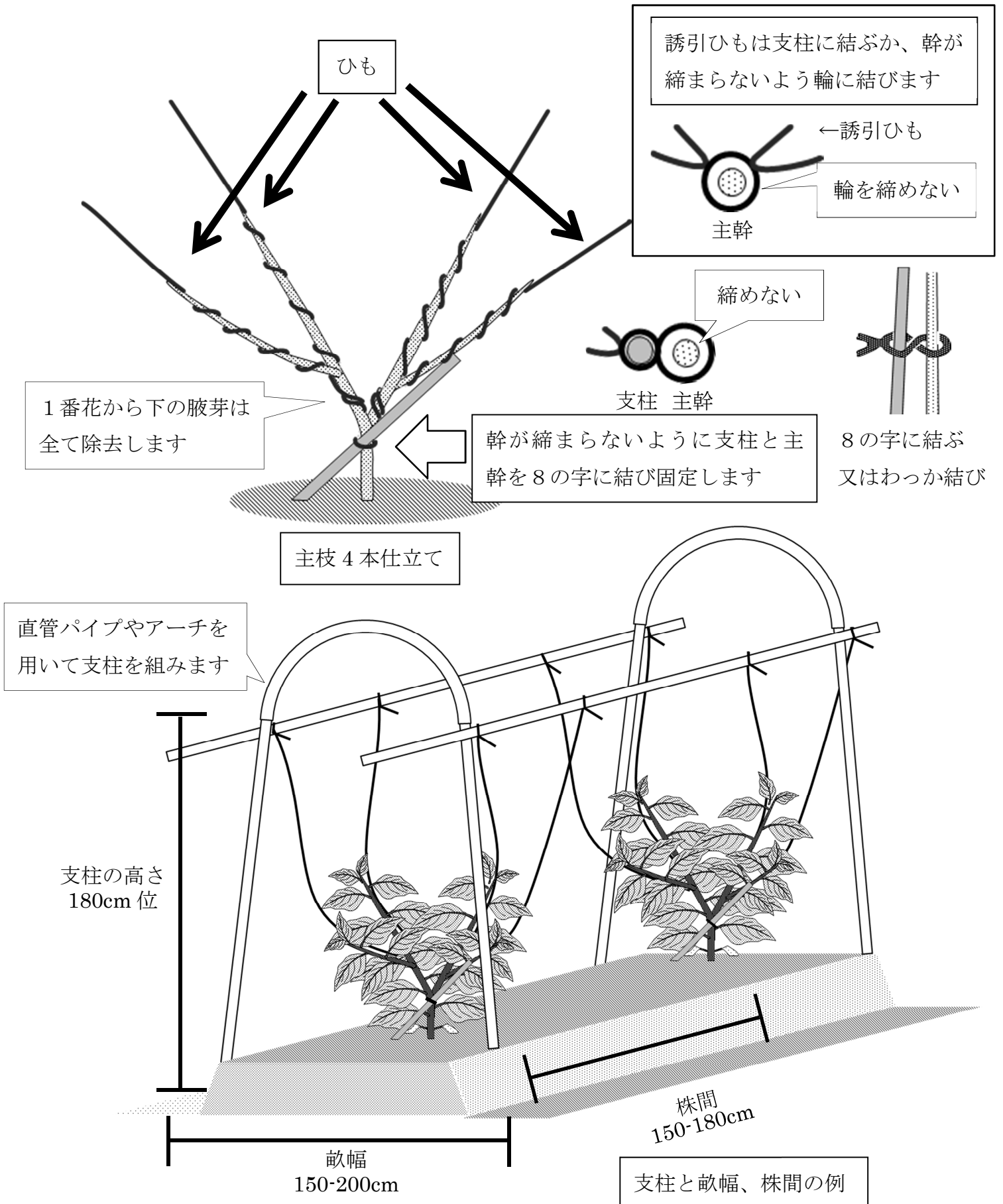
主枝と1番花の上から発生する勢いの良い1次側枝と2次側枝を利用した4本仕立てとします。1番花より下側の腋芽は台木の芽と併せて取り除きます。

1) 整枝



2) 誘引

残した4本を主枝と呼び、この4本をひもで誘引します。株もと（主幹）は支柱に固定します。主枝の伸長にあわせ、主枝にひもを回して誘引します。



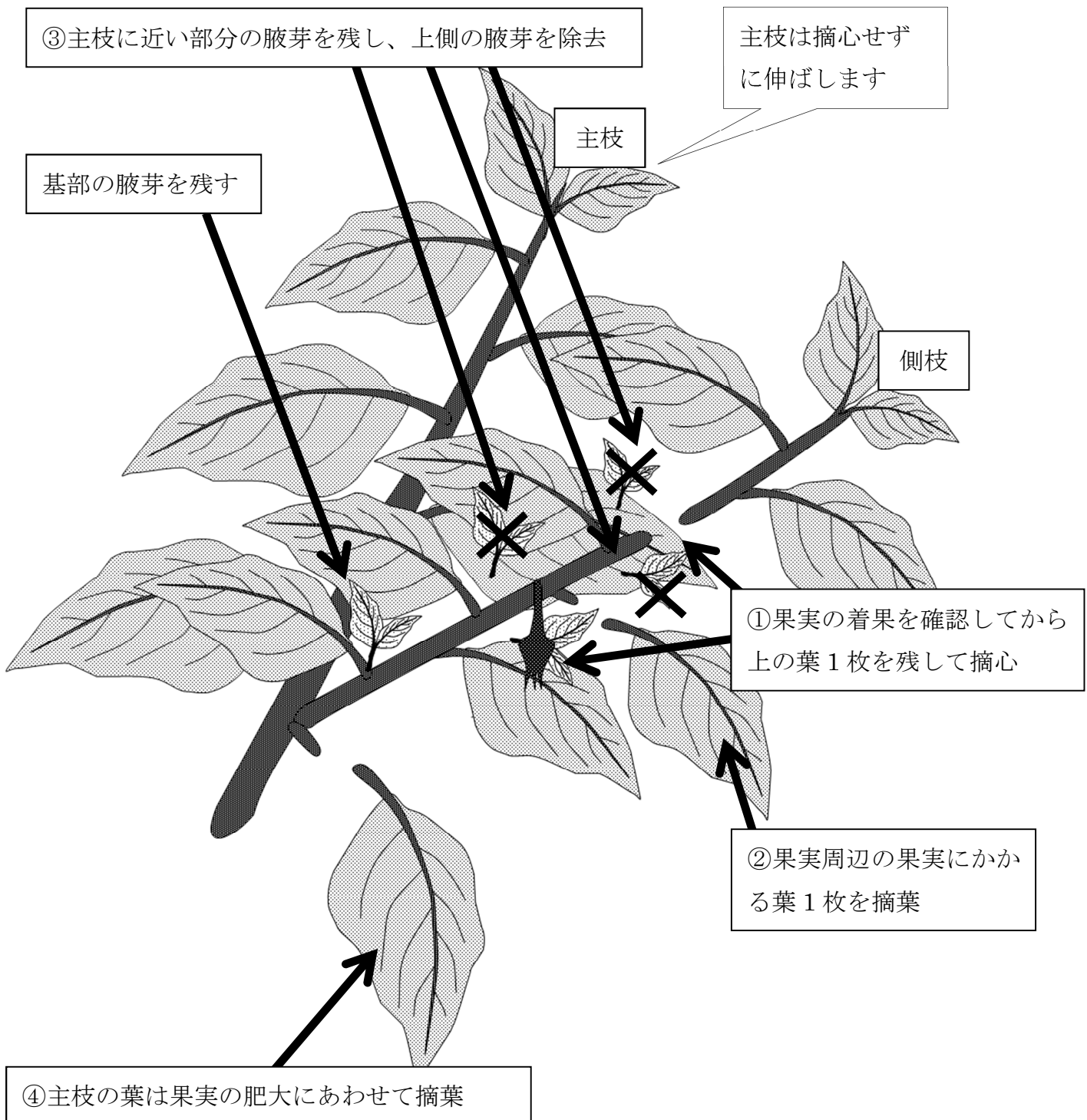
2. 切り戻しについて

4本の主枝から発生する側枝は、果実の着果後に第1花の上1葉を残して摘心し、基部2節の腋芽のうち、主枝に近い腋芽を残して不要な腋芽を除去します（着果せずに側枝が伸長した場合、基部2節まで切り戻します）。

果実の上部ないし果実に近い葉を1枚摘葉します。

果実の肥大が進んで主枝の葉が大きくなってきたら摘葉します。

1) 摘芯



2) 切り戻し

果実の収穫後、基部に残した腋芽の上で側枝の切り戻しを行います。

収穫頃には、基部に残した腋芽が伸びてきているので、次の着果枝に使用します。

腋芽や枝葉が混む場合、適時腋芽を整理し、古葉も摘葉を行います。

